

# 地震

## 防災の備えは できていますか

9月1日は「防災の日」

日本は活火山が多く、世界有数の地震国であり、いつでも地震が起きてもけつして不思議ではありません。

9月1日は「防災の日」——被害を最小限にいとめるため、ふだんできる家庭の防災対策の主なものをあげてみました。

### 家族で 防災会議を

▼町が決めた避難先はどこなのか、どの道を通って行けばよいのかを確かめてください。一度避難進路を歩いて確認することも大切です。

▼大地震のあとは、電話での連絡がほとんどできなくなることを考えられます。子供は学校、父親は会社などと家族がバラバラになつてるとき、どこに行けば家族に会えるかをよく話し合ってください。

▼各人の分担を決めてください。いざというとき、すべてを一人でやっ



ていたのでは間に合いません。火元を確認に行く人、非常持ち出し袋を持つ人などを決めておきましょう。

### 消火の備えを

火を使う器具や設備を点検整備するとともに、周辺の整理、整とんをしてください。また、アイロンをかけながら煮炊きをするなど、ふだんから同時に多数の火気を使わないように心がけましょう。

消火器や消火用の水などを用意し、「いざ」というときのために、いつでも使えるようにしておきましょう。地震が起きたら、すぐに火気の使用はやめましょう。万一火が出てしまったとき、被害を大

### 倒れそうなものは固定を

強い地震が起きると、かなりすわりのよい家具でも倒れることがありますが、金具などでしっかりと固定してください。また、重たい物やガラスケースなどが、家具の上や高いタナに乗っていたら、なるべく低い所に置くようにしましょう。

プロパンガスのボンベは鎖でしっかりと固定を。ブロック塀、門柱なども点検し、弱いところは補強しておきましょう。

### 非常持ち出し品の準備を

非常持ち出し物として、主なものは。

▽現金や貴重品など▽懐中電灯、ロソク、マッチ▽トランジスタラジオ▽水、乾パンなど緊急食料品▽下着類、手ぬぐい、石けん、ちり紙など▽救急医薬品——など、このほか、各家庭に必要なものを考えてみてください。

きくしないために初期消火が大切です。消火器の使い方がわからず火を消せなかつたという「悲劇」が起きないように、使い方もよく覚えておきましょう。

### 頼りになる隣近所

また、少なくとも3日分ぐらの飲料水、食料、燃料はいつも備えておきましょう。



大きな地震が発生すれば、公共施設も被害を受け、一一九番をダイヤルしても消防車が到着できないことも考えられます。そのためにも、最悪の場合を想定した自己防衛策を立てておく必要があります。ふだんから隣近所と話し合っておき、「いざ」というときは一致協力して消火に努めることが大事です。

### 町の避難場所

上 堀 小学校      上 堀 会 館  
横 芝 小学校      横 芝 中 学 校  
海 洋 セ ン タ ー      横 芝 教 愛 高 校  
大 総 小 学 校      大 総 会 館  
※これは最終的収容場所ですので、実情に応じて地区の集会施設等をご利用ください。